

国保みやざき

vol.2

2018年8月号

CONTENTS

02 クローズアップ

- 平成 29 年度事業実施報告・各会計決算を可決
平成 30 年 7 月 国保連合会通常総会
- 宮崎県国民健康保険団体連合会役員名簿
- 平成 29 年度各会計決算報告

07 NEWS & TOPICS

- 市町村長が先進地を視察
平成 30 年度 トップセミナー
- 事務の充実・情報共有を目指して
平成 30 年度 第三者行為求償事務研究会
- 本会の取組を分かりやすく紹介
平成 30 年度 事業概要



宮崎県国民健康保険
イメージキャラクター
「オレンジくん」

平成 29 年度事業実施報告・各会計決算を可決

●平成 30 年 7 月 国保連合会通常総会

7月30日（月）、本会で平成30年国保連合会通常総会を開催しました。開会にあたり、戸敷正理事長（宮崎市長）が「各保険者は、4月の制度改正以降、事業を円滑に実施できている。今後も国保運営のさらなる安定化に向けて取り組みたい」とあいさつ。総会では、平成29年度の実業実施報告および各会計の歳入・歳出決算のほか、平成30年度補正予算案等が審議されました。

また、前小林市長の退任に伴う副理事長には、理事会において宮原義久理事（小林市長）が選任されたことを報告。

議案審議では、専決報告事項1件、議案6件を提案し、全て原案のとおり可決されました。



通常総会の様子

◆報告事項

【専決報告事項第1号】平成29年度各会計歳入歳出補正予算

◆議決事項

【議案第1号】平成29年度事業実施報告

【議案第2号】平成29年度各会計歳入歳出決算

【議案第3号】平成30年度各会計歳入歳出補正予算（案）

【議案第4号】資産の積立（案）

【議案第5号】平成30年度債務負担行為（案）

【議案第6号】規約の一部改正（案）



あいさつをする戸敷理事長（宮崎市長）

お問い合わせ先 総務企画課 総務係

TEL 0985-25-4901 / FAX 0985-83-3359

E-mail: soumu@kokuhoren-miyazaki.or.jp

宮崎県国民健康保険団体連合会役員名簿

任期 自 平成 29 年 7 月通常総会終了から

至 平成 31 年 7 月通常総会終了まで

(平成 30 年 8 月 1 日現在)

役職名	氏名	公職名
理事長	戸 敷 正	宮崎市長
副理事長	宮 原 義 久	小林市長
副理事長	河 野 正 和	都農町長
常務理事	江 藤 修 一	学識経験者
理事	池 田 宜 永	都城市長
理事	読谷山 洋 司	延岡市長
理事	崎 田 恭 平	日南市長
理事	木佐貫 辰 生	三股町長
理事	中別府 尚 文	国富町長
理事	原 田 俊 平	五ヶ瀬町長
理事	秦 喜八郎	医師国保組合理事長
監事	十 屋 幸 平	日向市長
監事	西 川 健	諸塚村長

お問い合わせ先 総務企画課 総務係

TEL 0985-25-4901 / FAX 0985-83-3359

E-mail: soumu@kokuhoren-miyazaki.or.jp

平成 29 年度各会計決算報告

(1) 平成29年度 一般会計歳入歳出決算書

(単位：円)

歳 入			歳 出		
款	予算現額	収入済額	款	予算現額	支出済額
1. 負担金	52,956,000	52,947,755	1. 会議費	478,000	298,853
2. 国庫支出金	9,762,000	9,758,000	2. 総務費	63,045,000	55,990,051
3. 中央会支出金	1,000	0	3. 会館管理費	51,861,000	50,166,369
4. 財産収入	70,000	67,499	4. 事業費	47,604,000	40,822,510
5. 繰入金	88,408,000	80,972,380	5. 積立金	70,000	0
6. 繰越金	169,376,000	169,375,123	6. 借入金償還金	2,000	0
7. 諸収入	9,117,000	8,782,527	7. 諸支出金	104,041,000	103,906,722
歳入合計	329,690,000	321,903,284	8. 予備費	62,589,000	0
			歳出合計	329,690,000	251,184,505
					円 - 歳入歳出差引残高 70,718,779 円
					翌年度繰越金 70,718,779 円

※翌年度繰越金の内 70,000円 は国保連合会等補助金返還分

(2) 平成29年度 診療報酬審査支払特別会計（業務勘定）歳入歳出決算書

(単位：円)

歳 入			歳 出		
款	予算現額	収入済額	款	予算現額	支出済額
1. 手数料	505,430,000	473,676,963	1. 総務費	658,878,000	497,799,957
2. 負担金	34,666,000	34,665,349	2. レセプト点検共同事業費	28,303,000	27,900,450
3. 分担金	24,401,000	24,399,011	3. 求償事務処理費	15,589,000	13,174,165
4. 国庫支出金	62,002,000	58,363,000	4. 審査委員会費	46,133,000	41,358,196
5. 県支出金	3,925,000	3,922,668	5. レセ処理システム開発特別分担金	3,500,000	3,199,941
6. 繰入金	317,831,000	289,660,810	6. 積立金	142,823,000	142,820,948
7. 繰越金	13,111,000	13,110,875	7. レセ処理システム費	25,726,000	21,035,502
8. 諸収入	78,704,000	43,048,852	8. 借入金償還金	1,000	0
9. 財産収入	90,000	87,598	9. 諸支出金	110,518,000	72,260,153
歳入合計	1,040,160,000	940,935,126	10. 予備費	8,689,000	0
			歳出合計	1,040,160,000	819,549,312
					円 - 歳入歳出差引残高 121,385,814 円
					翌年度繰越金 121,385,814 円

※翌年度繰越金の内 6,000円 は国保連合会等補助金返還分

(3) 平成29年度 診療報酬審査支払特別会計（国民健康保険診療報酬支払勘定）歳入歳出決算書

(単位：円)

歳 入			歳 出		
款	予算現額	収入済額	款	予算現額	支出済額
1. 国民健康保険診療報酬受入金	92,695,209,085	92,695,209,085	1. 国民健康保険診療報酬支出金	92,695,209,085	92,695,209,085
2. 損害賠償受入金	145,071,251	145,071,251	2. 損害賠償支出金	145,071,251	145,071,251
3. 貸付金利息	1,000	0	3. 借入金償還金	1,000	0
4. 繰越金	10,000	9,617	4. 諸支出金	1,000	0
5. 諸収入	1,000	0	5. 予備費	10,000	0
歳入合計	92,840,292,336	92,840,289,953	歳出合計	92,840,292,336	92,840,280,336
					円 - 歳入歳出差引残高 9,617 円
					翌年度繰越金 9,617 円

(4) 平成29年度 診療報酬審査支払特別会計（公費負担医療に関する診療報酬支払勘定）歳入歳出決算書

(単位：円)

歳 入			歳 出		
款	予算現額	収入済額	款	予算現額	支出済額
1. 公費負担医療受入金	2,798,571,662	2,798,571,677	1. 公費負担医療支出金	3,498,571,662	3,325,305,489
2. 出産育児一時金等受入金	477,327,755	477,327,755	2. 出産育児一時金等支出金	477,327,755	477,327,755
3. 国庫支出金	700,000,000	680,283,987	3. 諸支出金	30,873,000	30,871,544
4. 繰越金	30,881,000	30,880,314	4. 予備費	9,000	0
5. 諸収入	1,000	0	歳出合計	4,006,781,417	3,833,504,788
歳入合計	4,006,781,417	3,987,063,733			円 - 歳入歳出差引残高 153,558,945 円
					翌年度繰越金 153,558,945 円

※繰越金の内153,550,160円 は高齢者医療制度円滑運営臨時特例交付金返還分（医療費）

(5) 平成29年度 保険財政共同安定化事業・高額医療費共同事業特別会計歳入歳出決算書

(単位：円)

歳 入			歳 出		
款	予算現額	収入済額	款	予算現額	支出済額
1. 共同事業事務費拠出金	2,000	0	1. 総務費	6,576,000	6,384,285
2. 共同事業拠出金	35,191,682,000	35,082,510,291	2. 交付金支出金	35,191,682,000	35,082,510,287
3. 国庫支出金	19,999,000	19,999,000	3. 超高額医療費共同事業事務費拠出金	110,000	109,675
4. 県支出金	1,000	0	4. 超高額医療費共同事業医療費拠出金	71,000,000	70,360,208
5. 超高額医療費共同事業交付金	66,536,000	66,535,830	5. 予備費	103,355,000	0
6. 繰入金	2,000	0	歳出合計	35,372,723,000	35,159,364,455
7. 繰越金	94,497,000	94,495,419			円 - 歳入歳出差引残高 104,176,085 円
8. 諸収入	4,000	0			翌年度繰越金 104,176,085 円
歳入合計	35,372,723,000	35,263,540,540			

(6) 平成29年度 広報共同事業特別会計歳入歳出決算書

(単位：円)

歳入			歳出		
款	予算現額	収入済額	款	予算現額	支出済額
1. 共同事業負担金	23,376,000	23,376,000	1. 総務費	23,787,000	23,723,885
2. 県支出金	1,000	0	2. 予備費	1,634,000	0
3. 繰入金	1,000	0			
4. 繰越金	2,041,000	2,040,353			
5. 諸収入	2,000	0			
歳入合計	25,421,000	25,416,353	歳出合計	25,421,000	23,723,885
	歳入合計	25,416,353	円 - 歳出合計	23,723,885	円 = 歳入歳出差引残高
					翌年度繰越金
					1,692,468
					1,692,468

(7) 平成29年度 介護保険事業関係業務特別会計(業務勘定)歳入歳出決算書

(単位：円)

歳入			歳出		
款	予算現額	収入済額	款	予算現額	支出済額
1. 手数料	118,218,000	113,037,442	1. 総務費	74,947,000	64,495,433
2. 国庫支出金	274,000	274,000	2. 求償事務処理費	1,085,000	814,738
3. 県支出金	662,000	662,000	3. 審査委員会費	1,025,000	893,100
4. 負担金	1,000	0	4. 介護サービス苦情処理委員費	240,000	40,500
5. 繰入金	1,549,000	1,546,000	5. 国保中央会負担金	26,159,000	26,158,982
6. 繰越金	7,942,000	7,941,418	6. 積立金	16,405,000	16,404,821
7. 介護予防ケアマネジメント負担金受入金	3,000,000	167,700	7. 諸支出金	6,710,000	6,593,271
8. 諸収入	247,000	189,161	8. 介護予防ケアマネジメント負担金支出金	3,000,000	167,700
9. 財産収入	10,000	7,499	9. 予備費	2,332,000	0
歳入合計	131,903,000	123,825,220	歳出合計	131,903,000	115,568,545
	歳入合計	123,825,220	円 - 歳出合計	115,568,545	円 = 歳入歳出差引残高
					翌年度繰越金
					8,256,675
					8,256,675

(8) 平成29年度 介護保険事業関係業務特別会計(介護給付費等支払勘定)歳入歳出決算書

(単位：円)

歳入			歳出		
款	予算現額	収入済額	款	予算現額	支出済額
1. 介護給付費受入金	96,206,436,110	96,206,436,110	1. 介護給付費支出金	96,206,436,110	96,206,436,110
2. 介護予防・日常生活支援総合事業費受入金	1,748,622,241	1,748,622,241	2. 介護予防・日常生活支援総合事業費支出金	1,748,622,241	1,748,622,241
3. 損害賠償受入金	5,888,428	5,888,428	3. 損害賠償支出金	5,888,428	5,888,428
4. 県支出金	1,000	0	4. 繰出金	1,000	0
5. 繰越金	2,000	1,407	5. 予備費	3,000	0
6. 諸収入	1,000	0			
歳入合計	97,960,950,779	97,960,948,186	歳出合計	97,960,950,779	97,960,946,779
	歳入合計	97,960,948,186	円 - 歳出合計	97,960,946,779	円 = 歳入歳出差引残高
					翌年度繰越金
					1,407
					1,407

(9) 平成29年度 介護保険事業関係業務特別会計(公費負担医療等に関する報酬等支払勘定)歳入歳出決算書

(単位：円)

歳入			歳出		
款	予算現額	収入済額	款	予算現額	支出済額
1. 公費負担医療等受入金	862,948,450	862,948,450	1. 公費負担医療等支出金	862,948,450	862,948,450
2. 県支出金	1,000	0	2. 繰出金	1,000	0
3. 繰越金	3,000	2,596	3. 予備費	4,000	0
4. 諸収入	1,000	0			
歳入合計	862,953,450	862,951,046	歳出合計	862,953,450	862,948,450
	歳入合計	862,951,046	円 - 歳出合計	862,948,450	円 = 歳入歳出差引残高
					翌年度繰越金
					2,596
					2,596

(10) 平成29年度 障害者総合支援法関係業務等特別会計(業務勘定)歳入歳出決算書

(単位：円)

歳入			歳出		
款	予算現額	収入済額	款	予算現額	支出済額
1. 手数料	31,329,000	29,961,317	1. 総務費	17,281,000	14,001,853
2. 国庫支出金	1,000	0	2. 国民健康保険中央会負担金	11,947,000	11,290,388
3. 県支出金	1,000	0	3. 積立金	2,866,000	2,865,151
4. 繰入金	1,550,000	1,547,000	4. 諸支出金	2,019,000	1,922,000
5. 繰越金	2,527,000	2,526,274	5. 予備費	1,704,000	0
6. 諸収入	409,000	285,200			
歳入合計	35,817,000	34,319,791	歳出合計	35,817,000	30,079,392
	歳入合計	34,319,791	円 - 歳出合計	30,079,392	円 = 歳入歳出差引残高
					翌年度繰越金
					4,240,399
					4,240,399

(11) 平成29年度 障害者総合支援法関係業務等特別会計(障害介護給付費支払勘定)歳入歳出決算書 (単位:円)

歳入			歳出		
款	予算現額	収入済額	款	予算現額	支出済額
1. 障害介護給付費受入金	26,203,333,358	26,203,333,358	1. 障害介護給付費支出金	26,203,333,358	26,203,333,358
2. 国庫支出金	1,000	0	2. 借入金償還金	2,000	0
3. 県支出金	1,000	0	3. 繰出金	1,000	0
4. 繰越金	1,000	0	4. 予備費	1,000	0
5. 諸収入	1,000	0			
歳入合計	26,203,337,358	26,203,333,358	歳出合計	26,203,337,358	26,203,333,358
歳入合計 26,203,333,358			円 - 歳出合計 26,203,333,358 円 = 歳入歳出差引残高 0円		
			翌年度繰越金 0円		

(12) 平成29年度 後期高齢者医療事業関係業務特別会計(業務勘定)歳入歳出決算書 (単位:円)

歳入			歳出		
款	予算現額	収入済額	款	予算現額	支出済額
1. 手数料	443,293,000	434,144,596	1. 総務費	291,658,000	245,998,839
2. 負担金	16,957,000	16,503,550	2. 求償事務処理費	12,330,000	11,073,365
3. 国庫支出金	1,534,000	1,534,000	3. 審査委員会費	46,034,000	43,464,385
4. 県支出金	1,000	0	4. 積立金	65,144,000	65,142,262
5. 財産収入	31,000	26,098	5. レセ処理システム費	17,487,000	15,223,538
6. 繰入金	48,666,000	48,663,000	6. 借入金償還金	1,000	0
7. 繰越金	25,278,000	25,277,573	7. 諸支出金	107,610,000	78,676,507
8. 借入金	1,000	0	8. 予備費	8,218,000	0
9. 諸収入	12,721,000	11,088,169			
歳入合計	548,482,000	537,236,986	歳出合計	548,482,000	459,578,896
歳入合計 537,236,986			円 - 歳出合計 459,578,896 円 = 歳入歳出差引残高 77,658,090円		
			翌年度繰越金 77,658,090円		

(13) 平成29年度 後期高齢者医療事業関係業務特別会計(後期高齢者医療診療報酬支払勘定)歳入歳出決算書 (単位:円)

歳入			歳出		
款	予算現額	収入済額	款	予算現額	支出済額
1. 後期高齢者医療診療報酬受入金	145,095,558,680	145,095,558,680	1. 後期高齢者医療診療報酬支出金	145,095,558,680	145,095,558,680
2. 損害賠償受入金	151,202,799	151,202,799	2. 損害賠償支出金	151,202,799	151,202,799
3. 県支出金	1,000	0	3. 借入金償還金	2,000	0
4. 繰越金	1,000	0	4. 予備費	1,000	0
5. 諸収入	1,000	0			
歳入合計	145,246,764,479	145,246,761,479	歳出合計	145,246,764,479	145,246,761,479
歳入合計 145,246,761,479			円 - 歳出合計 145,246,761,479 円 = 歳入歳出差引残高 0円		
			翌年度繰越金 0円		

(14) 平成29年度 後期高齢者医療事業関係業務特別会計(後期高齢者医療公費支払勘定)歳入歳出決算書 (単位:円)

歳入			歳出		
款	予算現額	収入済額	款	予算現額	支出済額
1. 公費負担医療受入金	889,327,033	889,327,095	1. 公費負担医療支出金	889,327,033	889,327,033
2. 県支出金	1,000	0	2. 借入金償還金	2,000	0
3. 繰越金	1,000	386	3. 予備費	1,000	0
4. 諸収入	1,000	0			
歳入合計	889,330,033	889,327,481	歳出合計	889,330,033	889,327,033
歳入合計 889,327,481			円 - 歳出合計 889,327,033 円 = 歳入歳出差引残高 448円		
			翌年度繰越金 448円		

(15) 平成29年度 特定健康診査・特定保健指導等事業特別会計歳入歳出決算書 (単位:円)

歳入			歳出		
款	予算現額	収入済額	款	予算現額	支出済額
1. 特定健診費用受入金	693,114,477	693,114,477	1. 特定健診費用支出金	693,114,477	693,114,477
2. 手数料	27,156,000	24,906,486	2. 総務費	24,276,000	22,231,347
3. 繰入金	2,549,000	2,546,000	3. 積立金	4,942,000	4,940,712
4. 国庫支出金	1,000	0	4. 繰出金	1,568,000	1,535,000
5. 繰越金	4,361,000	4,360,957	5. 諸支出金	1,000	0
6. 諸収入	2,000	0	6. 予備費	3,282,000	0
歳入合計	727,183,477	724,927,920	歳出合計	727,183,477	721,821,536
歳入合計 724,927,920			円 - 歳出合計 721,821,536 円 = 歳入歳出差引残高 3,106,384円		
			翌年度繰越金 3,106,384円		

お問い合わせ先 総務企画課 出納係
 TEL 0985-25-4901 / FAX 0985-83-3359
 E-mail: soumu@kokuhooren-miyazaki.or.jp

市町村長が先進地を視察

●平成 30 年度 トップセミナー

7月17日（火）～19日（木）、戸敷正理事長（宮崎市長）をはじめとする県内市町村長等17人が参加し、先進地視察（トップセミナー）を実施しました。

トップセミナーとは、国保が抱える課題に対して先進的に取り組む自治体等を市町村長が直接視察するもので、国保の安定運営や住みよいまちづくりにつなげることを目的に毎年実施。本年度は、静岡県富士市および新潟県見附（みつけ）市を訪問しました。

【富士市の取組】

富士市では、国保税収納率向上に関する取組を視察。「滞納整理に王道なし。チームワークと職員の情熱、やり遂げる気持ちが大切」を基本とする富士市は、平成28年度の滞納繰越分収納率が約31%と高く、同年度現年度分収納率も約93%となっています。

こうした背景には、組織体制の充実と人材育成を柱とした業務の推進が要因となっていました。組織体制では、国保税や市税等を同一部署（収納課）が管理。また、滞納整理業務は、財産調査班と処分（差押・滞納処分の停止）班が担当し、財産調査班が処分の進捗を管理する体制が確立されていました。

一方、人材育成では、研修の充実とモチベーションの向上に重点を置いた取組が特徴。国税OBの徴収指導員による定期的な研修のほか、職員が課題等を持ち寄った自主研修の開催など、職員の意識を高める工夫が見られました。



あいさつをする森田正郁（まさふみ）副市長



視察の様子

【次ページに続く】

【見附市の取組】

見附市では、スマートウェルネスシティに関する取組を視察。前半の講義では、久住（くすみ）時男市長が、「スマートウェルネスシティみつけの実現を目指して」と題し、少子高齢化や人口減少社会に対応するため、市民や企業、大学、他縣市町村、国など多様な主体と連携したさまざまな取組を紹介しました。

同市の特徴は、「健幸」（けんこう）をまちづくりの柱としている点。従来の健康施策（食生活・生きがい・健（検）診・運動）に、都市計画や交通、環境、地域づくり、雇用、産業振興、教育など市政全般の要素を盛り込み、「住んでいるだけで『健』やかに『幸』せに暮らせるまち」をコンセプトにしたまちづくりを展開しています。

後半は、コンセプトを具現化した現場を訪問。市民が集う複合施設「ネーブルみつけ」のほか、防災機能やイベントスペース等を備えた道の駅、新基準による電線地中化を全国で初めて実現した宅地分譲地「ウェルネスタウンみつけ」等を視察しました。



取組内容を説明する久住市長



市民交流センター「ネーブルみつけ」



道の駅「パティオにいがた」



宅地分譲地「ウェルネスタウンみつけ」

お問い合わせ先 総務企画課 企画・事業係

TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359

E-mail: kikaku@kokuhoren-miyazaki.or.jp

事務の充実・情報共有を目指して

●平成 30 年度 第三者行為求償事務研究会

6月28日(木)、県や市町村、後期高齢者医療広域連合で構成する第三者行為求償事務研究会を開催しました。会では、「加害者直接請求事務の整理」および「案件の掘り起こし」に関する意見交換を行い、今後の方向性をまとめました。

【加害者直接請求事務の整理】

加害者が賠償金支払いの分納を希望した場合、保険者がどのように案件を管理するか等について協議しました。特に重要となる「返済計画の把握(誓約書の提出)」に関しては、本会が加害者と交渉し、誓約書提出の同意を取り付けるまでを担当。保険者は、加害者からの誓約書受領および債権管理を行うことで整理しました。

【案件の掘り起こし】

保険者が、「事故該当一覧表」(毎月本会が提供)を一層活用していくことを再確認しました。また、被害者やその家族が被害届を窓口で提出する際、保険者が第三者行為の該当有無を判断するための「受付チェックリスト」を本会が作成することを確認。今後、こうした取組等を通して案件の掘り起こしの充実を図ります。

お問い合わせ先 保険者支援課 求償係

TEL 0985-25-5101 / FAX 0985-31-4388

E-mail: kyusho@kokuhoren-miyazaki.or.jp

本会の取組を分かりやすく紹介

●平成 30 年度 事業概要

本会では、保険者や、全国の国保連などの関係機関に本会の業務内容等を知ってもらうため、毎年度、事業概要を作成しています。

本概要では、イラストや図、グラフなどを交えて業務内容を説明。また、各業務担当者の似顔絵やコメントを業務の補足説明に付け加えた構成にしています。

その他、本年度から県も保険者となったことなどから、宮崎の魅力を PR するため、「スポーツランドみやざき」の紹介ページを設けています。

ぜひ本概要を活用いただき、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先 総務企画課 企画・事業係

TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359

E-mail: kikaku@kokuhoren-miyazaki.or.jp



こくほ随想 「特定保健指導の効果を上げる —実施率をどう高めるか—」

合同会社 生活習慣病予防研究センター 代表 岡山 明

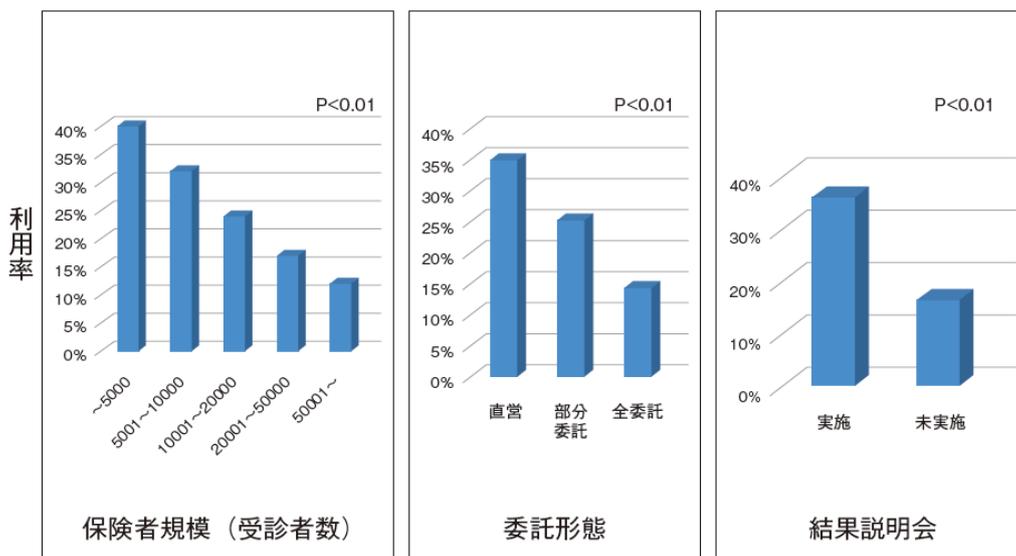
特定保健指導制度が施行されて 10 年が経過した。今年度からの第 3 期ではいよいよ、特定保健指導をどのように行つか、どう成果を得るかが重要な課題となってきた。

特定保健指導が特定健診と異なる点を述べると、健康診断は長年社会制度として実践され、健診機関側で質をどのように保つかなどの仕組みが整備されているので、保険者は受診率のみを考えておけばよい。対して、特定保健指導は制度が始まって 10 年しかたっておらず、特定保健指導の質を担保する仕組みがほとんど整備されていない。したがって、特定保健指導を実施しようとする保険者にとっては、常に特定保健指導の量を増やすことと同時に、質をどう担保するかも大きな課題である。

ここでは特定保健指導の量の視点から、これからの課題について述べたい。特定保健指導の量とは特定保健指導の利用率、終了率を指す。特定保健指導制度は、対象者にとってなじみの薄い保健事業のため、周知の仕方が最も重要である。下図は、私ども厚生労働科学研究班が分析した特定保健指導の利用率と関連する保険者要因を分析したものである。特定保健指導の利用率に強く影響を与える因子は保険者規模（大きいほど低い）、委託の有無（委託したほうが低い）、特定健診の結果説明会（実施していると高い）の 3 つであった。結果説明会を実施している市町村では、未実施の市町村と比較し 2 倍以上も利用率が高くなっていた。結果説明会は利用率が低迷している保険者にとって最も効果が期待できる事業である。

【次ページに続く】

市町村保険者の要因別特定保健指導利用率 (n=143)



出典：AMED「実践情報の解析による効果的な保健指導の開発と評価に関する研究」班（2014～2016）

結果説明会の開催方法はさまざまである。特定健診の結果をすべて説明会で本人に手渡しで行う市町村もあるが、階層化結果が積極的支援や動機づけ支援の人のみを対象としている市町村もみられる。保険者が特定健診の結果説明を含めて医療機関に委託しており、結果説明会という名称を使わず「特定健診の見方説明会」として実施している場合もある。

結果説明会が利用率向上に寄与する要因は、対象者にとって最もわかりやすい「健康診断」という制度のなかで、利用勧奨を行っている点である。「特定保健指導をします」より特定健診の見方を説明し、現状を理解してもらったうえで特定保健指導によって改善できる可能性があることを伝えれば、対象者もやってみようということになる。

こうした結果説明会を対象者の身近な場所で実施できれば、広域合併した市町村にとって保健事業の足場を整備したことになる。結果説明会による特定保健指導の実施率向上がうまくいったら、この仕組みを未治療者の治療勧奨や、糖尿病などの重症化予防事業の対象者の募集にも活用していただきたい。

また、一部の市町村で特定保健指導担当者と特定健診担当者が異なり、十分な打ち合わせが行われないうまま事業が実施されている場合がある。特定健診の目的は、対象者の循環器疾患リスクの評価だけでなく適切な支援を提供することなので、特定保健指導に結びつけることは特定健診の効果を高める重要な要素であることを、特定健診担当者が十分理解しておく必要がある。

(記事提供 社会保険出版社)

【プロフィール】

岡山 明

(おかやま あきら)



生年月日 1955年8月24日

合同会社生活習慣病予防研究センター 代表

日本循環器病予防学会 理事

国立循環器病研究センター 予防健診部 客員部長

滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 客員教授

岩手医科大学 非常勤講師

日本大学医学部兼任講師

【学歴】

1978年 東京大学教養学部基礎科学科卒業

1982年 大阪大学医学部医学科卒業

【職歴】

1983年 大阪大学医学部 助手 (環境医学講座)

1989年 滋賀医科大学医学部 講師 (保健管理学講座)

1994年 滋賀医科大学医学部 助教授 (福祉保健医学)

1999年 岩手医科大学 教授 (医学部衛生学公衆衛生学)

2004年 国立循環器病センター 予防健診部長

2007年 財団法人結核予防会 第一健康相談所長

2014年4月 国立循環器病研究センター 予防健診部 客員部長

2014年5月 生活習慣病予防研究センター 代表

2016年7月 一般社団法人適塩・血圧対策推進協会 代表理事

【受賞】

2014年2月 遠山椿吉記念 第3回 健康予防医療賞受賞

2014年6月 第29回日本心臓財団予防賞

～「生活習慣病に対する総合的保健指導法の開発と普及」における実績より～

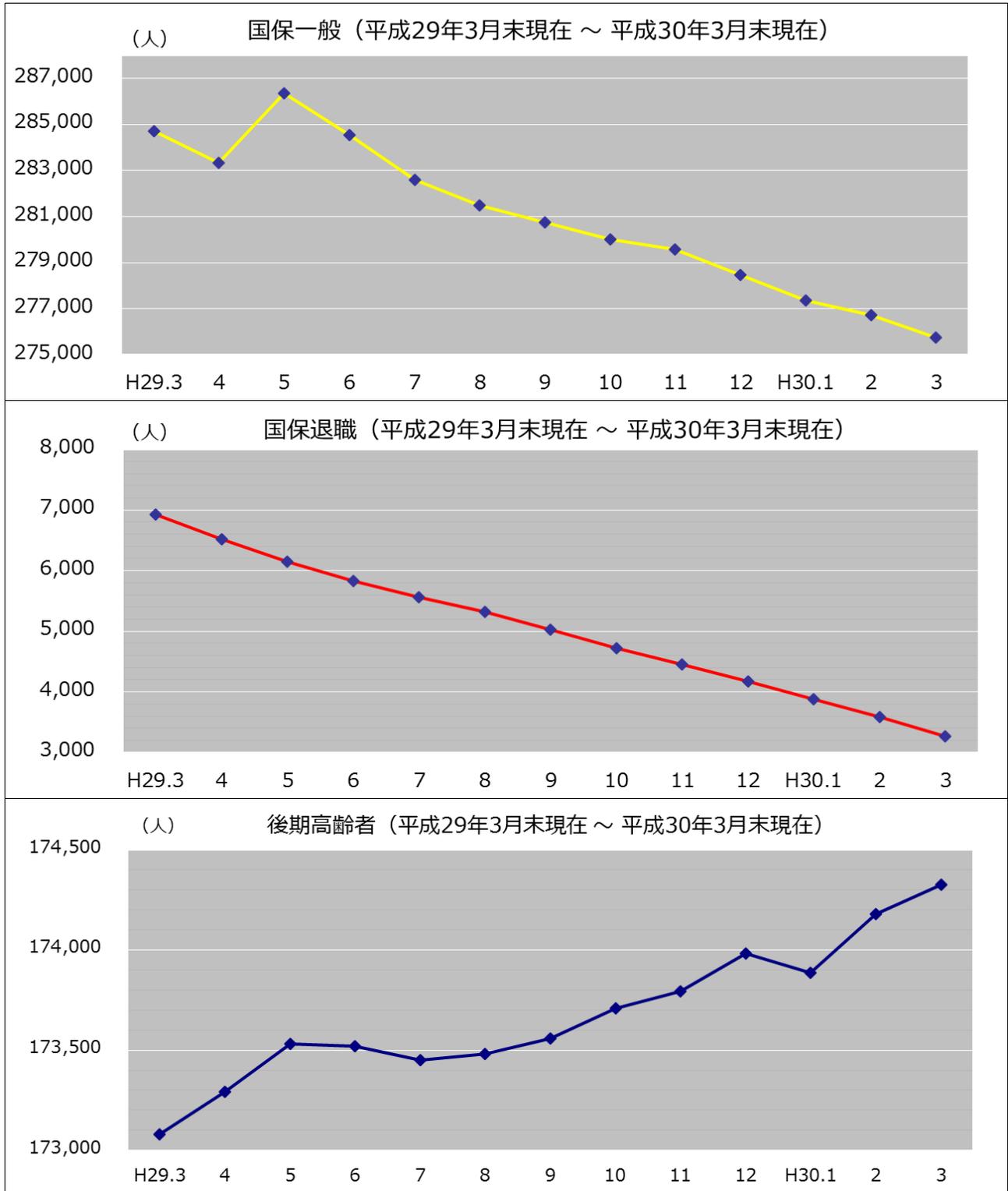
2014年12月 日本総合健診医学会 H26年度優秀論文賞

「特定保健指導の効果評価と対照設定の方法に関する研究」

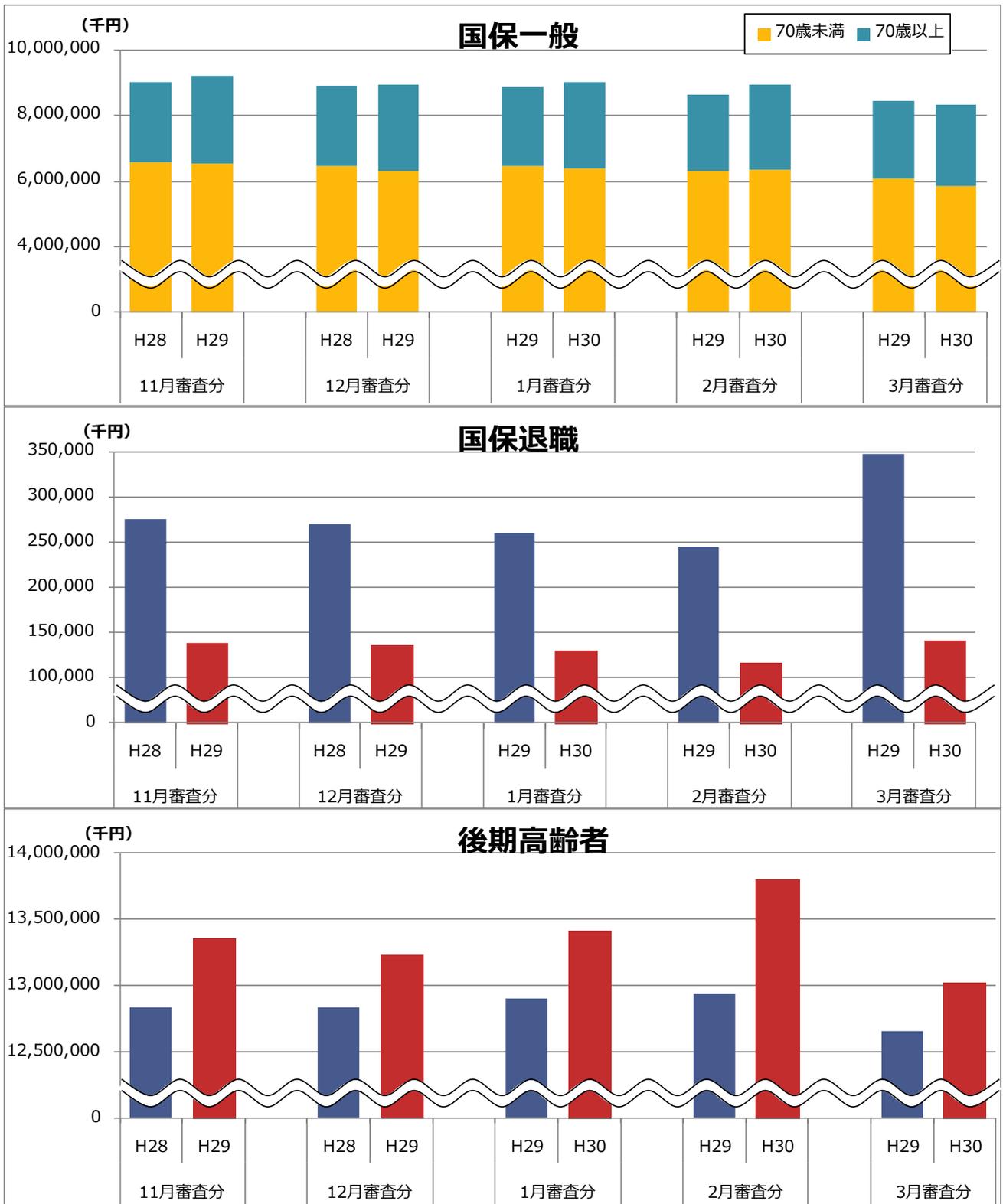
医療費データ

(注) 数値は、市町村月報集計（速報値）および宮崎県後期高齢者医療広域連合からの提供

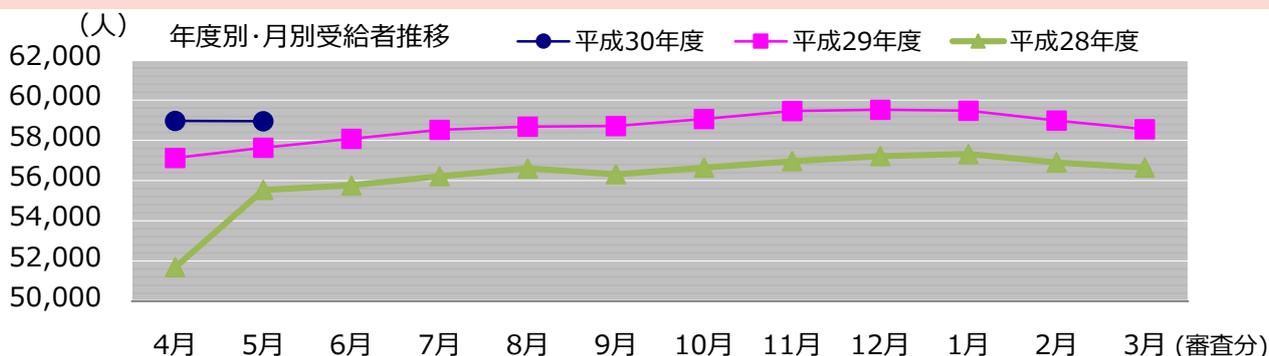
●被保険者の推移



● 月別医療費



介護保険だより



介護保険データ (平成30年4月審査分～平成30年5月審査分)

保険者名	確定件数状況			介護給付費 (総合事業を含む)			
	29/4月～29/5月	30/4月～30/5月	対前年度伸び率	29/4月～29/5月	30/4月～30/5月	対前年度伸び率	順位
	確定件数合計	確定件数合計	(%)	給付費合計(円)	給付費合計(円)	(%)	
宮崎市	76,784	79,149	103.1	4,780,629,018	4,976,927,684	104.1	9
都城市	42,232	42,930	101.7	2,529,037,274	2,587,138,549	102.3	16
延岡市	31,850	32,428	101.8	2,024,193,563	2,052,511,490	101.4	17
日南市	13,985	13,943	99.7	956,448,235	997,364,877	104.3	8
小林市	12,196	12,560	103.0	837,530,545	868,870,941	103.7	11
日向市	11,658	11,510	98.7	778,989,676	783,370,434	100.6	19
串間市	4,670	4,723	101.1	383,543,461	376,129,146	98.1	20
西都市	7,060	7,161	101.4	556,056,562	563,116,505	101.3	18
えびの市	6,137	6,135	100.0	453,145,117	465,402,628	102.7	14
三股町	5,050	5,145	101.9	320,931,817	334,009,282	104.1	10
高原町	2,205	2,199	99.7	167,539,713	175,317,085	104.6	7
国富町	5,041	5,147	102.1	328,299,099	340,381,731	103.7	12
綾町	1,658	1,776	107.1	121,675,120	125,292,020	103.0	13
高鍋町	3,476	3,585	103.1	242,141,321	255,137,723	105.4	4
新富町	2,627	2,590	98.6	211,678,032	204,060,228	96.4	23
西米良村	261	277	106.1	26,536,855	27,184,323	102.4	15
木城町	1,182	1,271	107.5	94,780,092	102,983,074	108.7	1
川南町	2,933	2,966	101.1	220,977,427	232,476,409	105.2	5
都農町	2,201	2,117	96.2	163,322,171	159,195,255	97.5	22
門川町	3,406	3,568	104.8	212,477,913	225,183,193	106.0	2
諸塚村	520	531	102.1	35,794,085	33,780,642	94.4	26
椎葉村	839	817	97.4	53,593,832	56,578,853	105.6	3
高千穂町	2,676	2,808	104.9	187,291,447	196,702,031	105.0	6
日之影町	1,179	1,089	92.4	96,037,931	93,675,862	97.5	21
五ヶ瀬町	862	858	99.5	63,961,317	60,980,451	95.3	25
美郷町	1,985	1,912	96.3	161,949,900	155,104,246	95.8	24
市町村計	244,673	249,195	101.8	16,008,561,523	16,448,874,662	102.8	

* 確定件数・給付費は国保連合会審査支払データによる。

* 給付費合計…介護給付費、特定入所者介護サービス費、高額介護サービス費および総合事業費の合計。

* 前年度伸び率は、29年度を100とした場合の%の表示。

お問い合わせ先 介護・健康推進課 介護福祉係
 TEL 0985-35-5111 / FAX 0985-25-0260
 E-mail: kaigo@kokuhoren-miyazaki.or.jp

国保連行事予定（8月・9月）

●8月

日	曜	行事	場所
8	水	宮崎県国保診療施設開設者協議会研修会	国保連 本館 4 階大会議室
10	金	レセプト受付日	国保連 本館 1 階ライブラリー室 東別館 1 階受付窓口
15	水	柔整審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
18	土	国保審査委員会（～22 日）	国保連 本館 4 階大会議室
20	月	国保審査小委員会	国保連 本館 1 階ライブラリー室
22	水	国保合同審査委員会	国保連 本館 4 階大会議室
		全国市町村国保主管課長研究協議会	日本青年館ホール（東京都）
23	木	介護給付費審査委員会（医療部会）	国保連 東別館 1 階会議室
		健康なまちづくりシンポジウム	日本青年館ホール（東京都）
24	金	宮崎縣市町村国民健康保険運営協議会連絡会 運営委員会	国保連 本館 4 階大会議室
29	水	全国国保診療報酬審査委員会会長連絡協議会	アルカディア市ヶ谷（東京都）

●9月

日	曜	行事	場所
6	木	平成 30 年度全国国民健康保険運営協議会 会長等連絡協議会	如水会館 2 階「スターホール」（東京都）
7	金	第 29 回宮崎県国保地域医療学会 第 2 回運営委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
10	月	レセプト受付日	国保連 本館 1 階ライブラリー室 東別館 1 階受付窓口
13	木	柔整審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
15	土	国保審査委員会（～20 日）	国保連 本館 4 階大会議室
18	火	国保審査小委員会	国保連 本館 1 階ライブラリー室
20	木	国保合同審査委員会	国保連 本館 4 階大会議室
21	金	介護給付費審査委員会（医療部会）	国保連 東別館 1 階会議室
29	土	宮崎県国民健康保険診療施設連絡協議会 施設長事務長合同会議	国保連 本館 4 階大会議室

●貸出機材等のご案内

国保連では、保険者が実施する健康まつりや健康展等のイベントで活用できる機材等の貸出を行っています。ぜひ活用してください。

機材等の貸出予約は、**申し込み順**となっていますのでお早めに申し込んでください。

取扱貸出品

- 体組成計
- もの忘れ相談プログラム
- ライフコーダEX（生活習慣記録機）
- 超音波骨量測定装置
- チェッカーくん(足指力測定器)
- マイクロCOモニター(呼吸ガス分析装置)
- イーゼルパネルセット
- 健康パネル
- のぼり旗・のぼり用竿
- はっぴ
- ビデオ・DVD
- オレンジくん着ぐるみ
- ロールアップバナー

宮崎県国民健康保険団体連合会 総務企画課 企画・事業係 TEL 0985-25-5321

詳細は国保連ホームページをご覧ください。借用申込書もダウンロードできます。

次号は10月配信予定です



宮崎県国民健康保険イメージキャラクター
「オレンジくん」

国保みやざき VOL.2

平成30年8月 配信

宮崎県国民健康保険団体連合会

〒880-8581 宮崎市下原町 231-1

TEL 0985-25-5321

<http://www.kokuhoren-miyazaki.or.jp>